

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 タナベ経営

コード番号 9644 URL <http://www.tanabekeiei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木元 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 若松 孝彦

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

TEL 06-7177-4000

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,538	△4.3	91	68.4	99	55.8	460	1,142.7
25年3月期第1四半期	1,606	31.8	54	—	63	—	37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	53.15	—
25年3月期第1四半期	4.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	10,792	8,979	83.2	1,036.46
25年3月期	10,735	8,778	81.8	1,013.26

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,979百万円 25年3月期 8,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,165	0.7	140	4.4	155	0.0	500	459.1	57.71
通期	7,450	1.6	600	7.0	630	4.8	750	131.5	86.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	8,754,200 株	25年3月期	8,754,200 株
26年3月期1Q	90,633 株	25年3月期	90,633 株
26年3月期1Q	8,663,567 株	25年3月期1Q	8,663,691 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の金融緩和策を背景に、輸出企業を中心に企業収益が回復し、消費者マインドにも改善傾向が見られる等、景気回復に向けた動きが高まりつつあります。しかしながら、海外景気の下振れリスクは払拭されず、円安による輸入価格の上昇に起因する国内景気の下振れ懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような経済環境のなか、当社は更なる事業戦略の強化とCRM（顧客関係管理）システムを駆使した顧客創造モデルの確立に取り組み、成長力と収益力のステージアップに努めてまいりました。

管理面におきましても、人材教育制度の体系化を推し進め、人材力とリスクマネジメント強化に努めると共に、広報活動による企業価値の創造・向上に注力してまいりました。

このような取り組みの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、15億38百万円（前年同期比4.3%減）となり、営業利益は91百万円（前年同期比68.4%増）、経常利益は99百万円（前年同期比55.8%増）となりました。

また、当社は、福岡県筑紫郡那珂川町に所有する土地を譲渡することを決定いたしました。当該土地につきましては、過年度において減損損失を計上し、繰延税金資産は計上しておりませんでした。当第1四半期会計期間の税金費用の計算にあたり、当事業年度において過年度計上した減損損失額が税務上損金算入され、発生する欠損金に対して繰延税金資産を計上することを見込んだことにより、四半期純利益は4億60百万円（前年同期比1,142.7%増）となりました。

なお、当社が販売しているビジネス手帳（暦年版）が第1四半期会計期間、第2四半期会計期間、第4四半期会計期間に比べ、第3四半期会計期間に販売が集中する傾向があるため、業績に季節的変動があります。

また、当第1四半期会計期間より、各セグメントの名称を、従来の「コンサルティング統轄本部」から「コンサルティング事業」、「ネットワーク本部」から「ネットワーク事業」、「SP事業部」から「セールスプロモーション事業」へと変更しておりますが、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、セグメント区分の方法に変更はありません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業は、CRM（顧客関係管理）システムの活用による顧客創造モデルの確立とチームコンサルティング型経営協力契約拡大で、安定した収益の実現を推進すると共に、コンサルティング品質ナンバーワンへ向けた管理体制強化にも取り組んでまいりました。

コンサルティング部門におきましては、戦略ドメイン研究会やマネジメント研究会が定着しつつあり、各種会売上は前期を大きく上回っております。教育売上についても、ニーズに沿った提案と実績により、短期教育から長期教育へと契約期間が伸びる傾向にあります。

また、経営協力契約数も期中平均380契約（前年同期353契約）と前期末から安定的に推移していることもあり、コンサルティング部門の売上高は、7億17百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

セミナー部門におきましては、人材教育への需要の高まり等から、新入社員セミナーの受講者数が昨年を大きく上回り、加えて前年同期では未開催であった「100年先も一番に選ばれる会社」をテーマにしたファーストコールカンパニーフォーラムを当会計期間で3拠点開催したこと等により、売上高は1億36百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

このような結果、コンサルティング事業の売上高は、8億74百万円（前年同期比4.1%増）となり、セグメント利益は2億5百万円（前年同期比41.0%増）となりました。

(ネットワーク事業)

ネットワーク事業は、顧客のニーズにマッチしたコンテンツや高付加価値商品の開発に取り組むと共に、コンサルティング部門との連携を進め、提携先である金融機関・会計事務所等の顧客の拡大・深耕に努めてまいりました。

このような結果、金融機関等への支援サービスの売上は安定的に推移しているものの、直接会員サービスへの売上が伸び悩み、ネットワーク事業の売上高は、88百万円（前年同期比3.3%減）となり、セグメント利益は11百万円（前年同期比54.2%増）となりました。

(セールスプロモーション事業)

セールスプロモーション事業は、営業本部にイベントプロモーション課を新設し、プロモーション分野の更なる開拓と、総合プロモーション提案による顧客基盤拡大を推進してまいりました。

このような状況のなか、受注活動は前期並みに推移したものの、大口案件の納品が前期に比べ減少したこと等で、セールスプロモーション事業の売上高は、5億75百万円（前年同期比14.8%減）となり、セグメント損失は1億円（前年同期はセグメント損失75百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産合計は107億92百万円となり、前事業年度末比57百万円増加いたしました。

流動資産は、法人税等や配当金の支払等により現金及び預金が減少したこと等により、前事業年度末比4億75百万円減少いたしました。

固定資産は、長期定期預金から定期預金への振替等がありましたが、繰延税金資産の増加や投資有価証券の新規購入等により、前事業年度末比5億32百万円増加いたしました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は18億13百万円となり、前事業年度末比1億43百万円減少いたしました。

流動負債は、未払法人税等や賞与引当金の減少等により、前事業年度末比1億48百万円減少いたしました。

固定負債は、退職給付引当金は減少しましたが、役員退職慰労引当金の増加により、前事業年度末比4百万円増加いたしました。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は89億79百万円となり、前事業年度末比2億円増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。

詳しくは平成25年7月12日公表の「固定資産の譲渡、繰延税金資産の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【注意事項】

上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,764,717	2,312,628
受取手形及び売掛金	631,710	431,172
有価証券	1,700,651	1,600,410
商品	40,411	41,852
原材料	14,488	51,057
その他	223,531	462,833
貸倒引当金	△2,691	△2,712
流動資産合計	5,372,819	4,897,241
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	906,413	900,580
土地	1,818,994	1,818,994
その他(純額)	60,115	57,480
有形固定資産合計	2,785,524	2,777,055
無形固定資産	25,252	24,077
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,283	1,329,408
その他	1,461,666	1,764,900
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	2,551,949	3,094,309
固定資産合計	5,362,726	5,895,441
資産合計	10,735,545	10,792,683
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,045	197,047
未払法人税等	186,265	47,015
賞与引当金	194,800	97,700
関係会社整理損失引当金	17,000	—
その他	734,580	920,766
流動負債合計	1,410,691	1,262,529
固定負債		
退職給付引当金	249,404	245,682
役員退職慰労引当金	296,982	305,046
再評価に係る繰延税金負債	—	—
固定負債合計	546,386	550,729
負債合計	1,957,078	1,813,259

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成25年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 772, 000	1, 772, 000
資本剰余金	2, 402, 847	2, 402, 847
利益剰余金	4, 701, 788	4, 937, 027
自己株式	△39, 128	△39, 128
株主資本合計	8, 837, 507	9, 072, 746
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19, 850	△14, 432
土地再評価差額金	△78, 890	△78, 890
評価・換算差額等合計	△59, 040	△93, 322
純資産合計	8, 778, 467	8, 979, 423
負債純資産合計	10, 735, 545	10, 792, 683

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,606,734	1,538,174
売上原価	905,866	807,440
売上総利益	700,867	730,733
販売費及び一般管理費	646,638	639,395
営業利益	54,229	91,337
営業外収益		
受取利息	4,930	6,295
その他	7,395	5,184
営業外収益合計	12,325	11,479
営業外費用		
有価証券償還損	2,830	—
有価証券評価損	—	2,530
その他	16	1,001
営業外費用合計	2,846	3,532
経常利益	63,708	99,284
特別損失		
固定資産除売却損	172	70
特別損失合計	172	70
税引前四半期純利益	63,536	99,213
法人税等	26,481	△361,278
四半期純利益	37,054	460,491

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	ネットワーク 事業	セールスプロ モーション 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	840,484	91,540	674,709	1,606,734	—	1,606,734
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,930	1,325	386	5,643	△5,643	—
計	844,415	92,866	675,096	1,612,377	△5,643	1,606,734
セグメント利益 又は損失(△)	145,556	7,590	△75,531	77,615	△23,386	54,229

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去と報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	ネットワーク 事業	セールスプロ モーション 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	874,596	88,564	575,012	1,538,174	—	1,538,174
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,155	2,379	150	5,685	△5,685	—
計	877,751	90,944	575,162	1,543,859	△5,685	1,538,174
セグメント利益 又は損失(△)	205,283	11,707	△100,432	116,558	△25,221	91,337

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去と報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期会計期間より、各セグメントの名称を、従来の「コンサルティング統轄本部」から「コンサルティング事業」、「ネットワーク本部」から「ネットワーク事業」、「SP事業部」から「セールスプロモーション事業」へと変更しておりますが、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、セグメント区分の方法に変更はありません。